

「株神戸製鋼所の不正行為防止に関する「決議」と「意見書」を議決

6月定例会は、6日から13日まで開かれ、条例改正、補正予算などが提出され、すべて原案どおり可決するとともに、神戸製鋼所のばい煙データの改ざん問題に対する決議を行いました。なお、7人の議員が一般質問を行い町当局の考えをたどりました。



▲すこやかな成長を（乳児健診）

補正予算

◎一般会計
歳出の主なものとしては、妊娠期間中の妊婦の健康増進を図ることを目的に、県が本年7月1日から妊娠後期（妊娠22週以降）の健康診査にかかる費用の内、1万5千円を上限として1回分の助成を行う事業が実施されるのに加えて町単独事業として妊娠前期（妊娠21週まで）の健康診査にかかる費用の内、1万5千円を上限として1回分を助成する事業を実施する費用として600万円増額。
本年3月定例会で廃止を否決した「心身障害者福祉

年金」を1年間分支給するために必要な費用として2637万5千円増額。
町内の5自治会から所有する公民館の整備に係る費用の補助の申し出があり、補助金を154万8千円増額しました。

条例改正

条例改正として「非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例」で、国の法律改正（4月1日改正）にともない、播磨町の非常勤消防団員の退職報償金を分団長などの団員に対し2000円引き上げる改正をしました。この条例は、

「株神戸製鋼所加古川製鉄所の不正行為防止に関する決議と意見書を議決

本年5月下旬に判明した（株）神戸製鋼所加古川製鉄所におけるばい煙データの改

「株神戸製鋼所加古川製鉄所のばい煙問題等の改善を求める意見書（要旨）」

（株）神戸製鋼所加古川製鉄所で大気汚染防止法の排出基準を超える窒素酸化物や硫酸酸化物を含むばい煙が長期間排出されていたことが判明した。同社は、地元市にデータ送信をしないようプログラムを設定していたほか、測定装置を不正操作するなど、測定データを改ざんしていた。このような行為は、加古川市・播磨町をはじめとする近隣市町住民の信頼を踏みにじるものであり、憤りを禁じ得ない。一刻も早い実態把握と原因究明、実効ある再発防止策を講じることが不可欠である。よって、兵庫県において、下記の対策について早急に取り組まれるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

記

1 （株）神戸製鋼所加古川

兵庫県知事 井戸敏三様

平成18年6月13日

「株神戸製鋼所加古川製鉄所における大気汚染に係る測定データの不正行為防止に関する決議（要旨）」

本年5月に判明したばい煙データの改ざんにおける一連の行為は、近接する本町住民の（株）神戸製鋼所加古川製鉄所に対する不信感を増幅するものであり、住民の健康上に悪影響を及ぼしかねない、非常に遺憾な事案である。徹底した原因究明がおこなわれることに期待すると共に本町住民に対する説明、又情報提供等、真摯な対応を望むものである。また、企業の社会的責任を自覚し、法令順守の一層の徹底と再発防止に向けた取り組みを早期に実施し、二度と不祥事が起こらないよう万全の方策を講じられることを強く要望する。

以上、決議する。
平成18年6月13日

「出資法の上限金利の引き下げ等」「利息制限法」「出資の受入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める意見書（要旨）」

現在、出資法に規定された上限金利は年29.2%であり、ほとんどの貸金業者等がこの上限金利で営業している。また、貸金業規制法に規定された「みなし弁済」では、出資法の上限を超えない限り罰則の対象とならないことから、利息制限法を上回る金利での貸付を助長している。さらに、日賦貸金業者（日掛け金融）については、集金による毎日の返済という形態の必要性が失われている。また、電話加入権が財産的価値をなくしつつあるのが現状。一般住民が安心して生活できる消費者信用市場の構築、また、多重債務問題の抜本的解決のためには、早急な対策が必要。よって、国におかれては、下記の事項について

記

1. 利息制限法の制限金利を、市場金利に見合った利率まで引き下げること。
2. 出資法第5条の上限金利を、利息制限法第1条の制限金利まで引き下げること。
3. 貸金業規制法第43条のいわゆる「みなし弁済」規定を撤廃すること。
4. 出資法における、日賦貸金業者及び電話担保金融に対する特例金利を廃止すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。（国の関係機関に送付）

「請願」を採択し、政府などに意見書を提出

多重債務問題を引き起こす要因のひとつである「出資法」などの法律に定められた制限金利の引き下げなどを求める請願」が議会で提出されました。この請願は、民生生活常任委員会に付託し、審査した結果、委員会及び本会議とも賛成多数で「採択」されるとともに、関係法律の改正を求める意見書を提出することを可決し、政府など関係機関に送付しました。

さんなどの一連の不正行為に対する本町議会の意思表示として、再発防止に向けた社内教育の早期実施と万全の方策の取り組みを要請する決議を行いました。また、大気汚染防止の監督庁である兵庫県に対し、原因の徹底究明と（株）神戸製鋼所への再発防止策の実施の指導を求めた意見書を議決し、知事に送付しました。



小西茂行、松本かをり、山下喜世治議員に自治功労者表彰

5月25日、神戸で開かれた兵庫県町議会議長会総会において、小西茂行議員（4期）、松本かをり議員（4期）、山下喜世治議員（4期）の3名が、兵庫県町議会議長会から自治功労者表彰を受けられました。

清水ひろ子議員の辞職を許可

6月定例会の第2日目の13日、清水ひろ子議員より一身上の都合によるご辞退願が議長に提出され、会議に諮った結果、全会一致で辞職を許可しました。